

輸送経済

THE YUSO-KEIZAI

第2905号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

8/10

平成22年
(2010)
(火曜日)
週刊

アシックス

つくばに物流センター

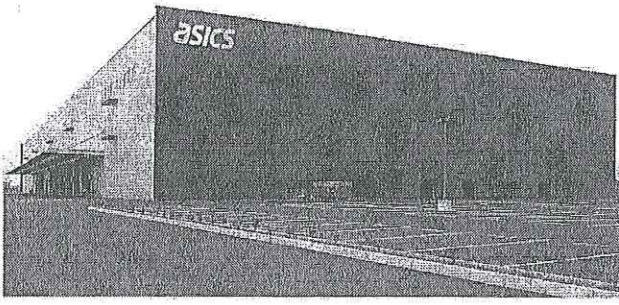
効率化、CO₂削減へ

アシックス(本社・神戸市、尾山基社長)は十七日、茨城県の「アシックスつくば配送センター」を稼働する。東日本での販売商品をすべて集約し、新搬送システムや省エネ設備を導入。六十二億円を投入し、物流効率化とCO₂削減を図る。

これまで五拠点で管理していた静岡以北の東日本向け商品を集約し、顧客サービスのレベルを向上。拠点により扱うアイテムに偏りがあった出荷の非効率性を解消した。

従業員は商品知識不要

作業では、従業員に商品知識は不要。すべて番号の確認だけで行える。省エネ型設備で、従来型と比べ二四・三%のCO₂排出量を削減。トックランナー変圧器、人感センサー照明や、気流温度解析による換起風量削減などを導入した。



シューズボックスをデザインモチーフとした配送センター

センター内には、最新の搬送システムを導入し、一時間で六十ヶ所を任分けできる。入荷した商品は、コンベヤーに乗せるだけで自動的にバーコードを読み取り保管場所まで振り分ける。

敷地面積三万三千平方メートル、三階建てで、延べ床面積三万八千平方メートル。二万六千平方メートルは増設可能。人員は、百六十人配置する。

(奥田 崇志)

流通加工やピッキングなど、人手を使